

朔東の地は、北海道の脊梁山脈である北見山脈及び日高山脈により隔絶されている。また、管内に於いても十勝地区、根釧(or 根釧)地区、網走・北見地区と夫々が地域的独立性を有している。このような、地勢なればこそ、夫々の地区は幾つかの峠で結ばれている。面白いことに、夫々の峠には夫々の顔がある。

(昨 3 月 3 1 日帯広駐屯地内で、山下撮影)

峠という字は、道が山嶺を越えて上り下りするところから出来たものであるが、比較的新しいとも言われている。古来、峠は、山、坂、越の字をつけて呼ぶことが多い。峠を越える時は、峠の頂上や坂の各所で神に幣を奉って路次の平安を祈ったものであり、峠は境界になる事も多く、境の神、塞の神、道祖神等が祀られている。歴史の浅い北海道には道祖神等は見掛けないが・・

峠は郷関を出ずる、通過した地域との別離の、或いは、入国せんとする地域への決意を新たにする正に結界である。「越し方を振り返って涙し・感謝し、行く方を望んで唇を結ぶ」と言うことなのだが、そのような情緒ある旅は少なくなった。そんな情緒を感じず暇もない位に転瞬の間に過ぎ去る。列車が山塊を貫通し、道路が開削・舗装され、世は挙げてモータリゼーションの時代となったことを実感する。然しながら、時には立ち止まり、その種の感慨を感じて貰いたいものだし、更には絶景に心を洗って欲しい。

朔東と他地域を接続し、或いは管内相互を接続する夫々の峠には、夫々の風景があつて一様ではない。一般的に、峠は眺望の名所であり、展望台が通常併設されている。間もなく、北海道の最高の季節到来である。気の向く儘に、峠の風景を堪能してみてもどうだろうか。

さて、峠に至るまでの行程を表す尺度として「合」が使われるが、実際に調査・確認した処、基点から頂上までの行程を 10 等分したものが「合」である。高さを等分してあるのではない。標高の違う 5 合目があつても何ら不思議ではないのである。但し、上り始めの基点が何処かは明確に表示されていないようだが・・。

- ① 狩勝峠(石狩国と十勝国の境界に因み命名、Rt38)(新得町・南富良野町)
展望台から望む、如何にも北海道という感のする十勝のパノラマは新日本八景と言うに相応しい。道東二人旅の歌を思い出す。
- ② 日勝峠(日高国と十勝国に因み命名、Rt274)(日高町・清水町)
峠周辺には大原始林が広がり、十勝平野と大雪連峰が絶景。石勝樹海ロードの最大の難所。札幌との最短コースであるので交通量多し。日勝峠第一展望台の駐車場近くにある鐘は、二人で手を繋いで左右の接点に触れると鳴り始める、第九の町ならではだ。
- ③ 美幌峠(Rt243)(美幌町・弟子屈町)
眼下に屈斜路湖を、阿寒有数の景勝地。美空ひばりの歌碑あり。少し離れているが峠の湯もよし。展望の雄大さ故にスカイスポーツのメッカになっている。
- ④ 石北峠(Rt39)(留辺蕊町・上川町)
広大な原生林と雌阿寒岳・雄阿寒岳の雄大な眺望
- ⑤ カネラン峠(道々足寄・陸別線?)(陸別町)：知る人ぞ知る阿寒山系眺望の地、未舗装

- ⑦ ルクシ峠(Rt333)(北見市・佐呂間町)
2001年10月土砂崩れで美幌自衛隊が災害派遣出動
- ⑧ 釧北峠(Rt240)(津別町・阿寒町)：阿寒側は霧が発生しやすい。
- ⑨ 根北峠(Rt244)(斜里町・標津町)：知床峠閉鎖間の南北接続路、走り易い路線？
- ⑩ 三国峠(Rt273)(上士幌町・上川町)
上士幌側は、断続的な長大な橋多数あり、空中散歩の感あり。
- ⑪ 金華峠(Rt242)(留辺蕊町・生田原町)
これといった特徴のない峠、近傍にある囚人道路の名残の「鎖塚」が著名。
- ⑫ 小清水峠(道々道網走川湯線)(小清水町・弟子屈町)
峠が小清水町と弟子屈町の境界になっていないので、奇異に感ずる？芝桜で有名な東藻琴から屈斜路湖への途次の峠。
- ⑬ 清里峠(道々摩周湖斜里線)(清里町・中標津町)
摩周湖を眺めるなら最高の展望台と言われる摩周湖第二展望台に至る峠
- ⑭ 野上峠(Rt391)(小清水町・弟子屈町)：特段変哲なき峠
- ⑮ 足寄峠(Rt241)(足寄町)：秋には紅葉の名所
- ⑯ 知床峠(Rt334)(斜里町・羅臼町)
冬季閉鎖、日本最後の秘境知床半島、眼前の雄大な羅臼岳と無念の国後島を望む。頂上付近は、森林限界を超えているためハイマツが生い茂る。
- ⑰ 池北峠(Rt242)(置戸町・陸別町)：なだらかな丘陵越えの峠
- ⑱ 津別峠(道々屈斜路津別線)(津別町・弟子屈町)
峠部分道幅狭し。一風変わった展望台からの眺望も良し。俗化されていない。
- ⑲ その他 活汲峠、開成峠等あるも、・・・

(参考：百科事典、道路地図帳、各種HP)